

# IDDNewsletter.....

3  
March  
2025



## 特集1

### 令和6年度北海道高等聾学校専攻科 情報デザイン科修了作品展

去る、2月19日（水）～24日（日）に小樽美術館市民ギャラリーにて、令和6年度北海道高等聾学校専攻科情報デザイン科修了作品・美術部展が開催された。令和6年度の情報デザイン科修了生の様々な作品と、北海道高等聾学校本科美術部の作品が展示された。

## 特集2

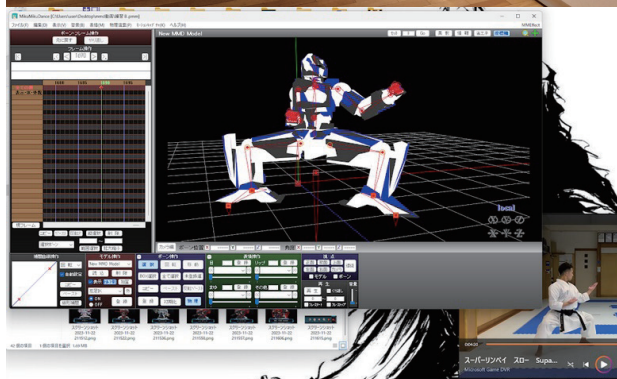
### デザインと暮らす デザインと生きる

何かがあるということは、そこに必ずデザインが存在している。身の回りにある全てのものは、誰かがデザインしたのである。

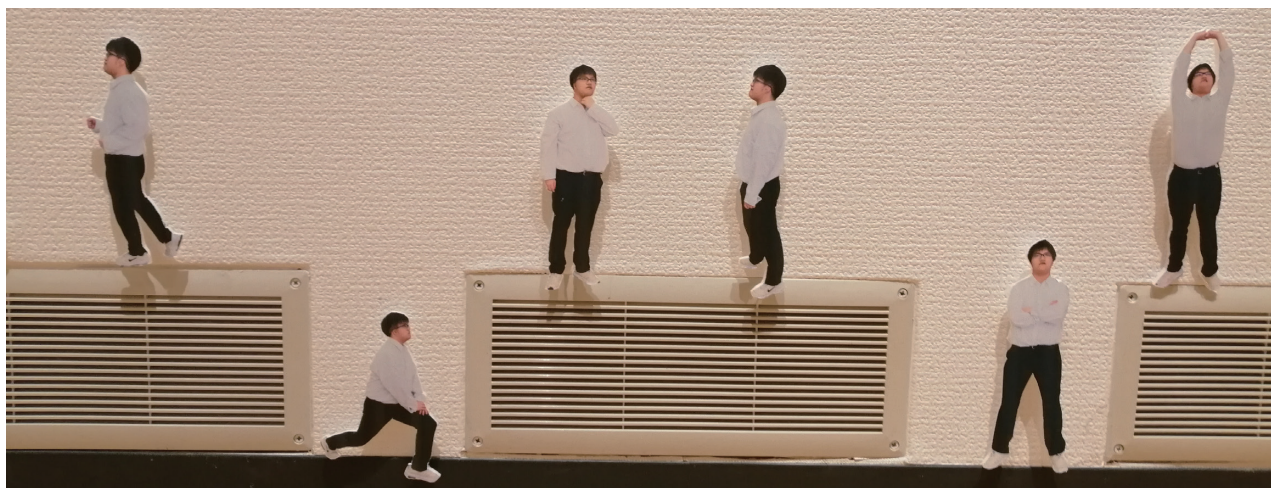
# 令和6年度北海道高等聾学校専攻科 情報デザイン科修了作品展

去る、2月19日（水）～24日（日）に小樽美術館市民ギャラリーにて、令和6年度北海道高等聾学校専攻科情報デザイン科修了作品・美術部展が開催された。令和6年度の情報デザイン科修了生の様々な作品と、北海道高等聾学校本科美術部の作品が展示された。

去る、2月19日（水）～24日（日）に小樽美術館市民ギャラリーにて、令和6年度北海道高等聾学校専攻科情報デザイン科修了作品・美術部展が開催された。令和6年度の情報デザイン科修了生の様々な作品と、北海道高等聾学校本科美術部の作品が展示された。



修了生の作品は、これまでの学習で身に付けた様々な表現力の集大成のような作品がメインだ。他にも、日々の授業で作成した絵画やポスター、家具などが並ぶ。2年間という短い期間ではあるが、その中で学生達が心血を注いで制作した作品の数々を、日本のみならず海外の皆様にも見ていただけたことに感動を禁じ得ない。





## 特集2

# デザインと暮らす デザインと生きる

何かがあるということは、そこに必ずデザインが存在している。身の回りにある全てのものは、誰かがデザインしたのである。

「デザイン」と聞いてどんなことを思い浮かべるだろうか。洋服、宝飾、靴に帽子などのいわゆるファッションに関わること、あるいは車やバイク、洗濯機や冷蔵庫などのマシンに関わること、もしくは本やチラシ、週刊誌やコミックのレイアウトや色使いをイメージする方もいるかもしれない。勿論他にもデザインされているものはたくさんあり、そう考えてみると、周囲はデザインだらけなのである。

何かがあるということは、そこに必ずデザインが存在している。身の回りにある全てのものは誰かがデザインしたのである。その目的は様々であり、中には複数の目的を持ったデザインも多数存在する。例えば、あるリップクリームは乾燥を防ぐ目的もあれば健康そうな唇を演出する目的もあり、使用した人に良い香りを楽しませる目的もある。リップクリームのパッケージも、商品を守るという目的や商品を目にした人の購買意欲を高める目的等がある。それらの目的を果たすためにはデザインの力なくしては考えられないのである。

全てのものには作り手があり、デザインをした者がいる。



そう考えると、自然や生き物をもデザインした存在がいるのではないかと思えてくる。そのうちに医学や科学が、DNAのデザインを可能にする日が来たとして、神への著作権に引っかかりはしないだろうかと思うのは杞憂だろうか。

IDDN



# Contents

## 特集1

### 令和6年度北海道高等聾学校専攻科 情報デザイン科修了作品展

2-3

去る、2月19日(水)～24日(日)に小樽美術館市民ギャラリーにて、令和6年度北海道高等聾学校専攻科情報デザイン科修了作品・美術部展が開催された。令和6年度の情報デザイン科修了生の様々な作品と、北海道高等聾学校本科美術部の作品が展示された。

## 特集2

### デザインと暮らす デザインと生きる

何かがあるということは、そこに必ずデザインが存在している。身の回りにある全てのものは、誰かがデザインしたのである。

*Welcome to Information Design Department !!*

表紙写真：令和6年度専攻科情報デザイン科修了生作品（一部）



## 専攻科情報デザイン科の特徴

## 入学生を募集しています！

北海道高等聾学校専攻科情報デザイン科は、聴覚障害のある方で、高等学校や、特別支援学校高等部を卒業等していれば、入学できます。それ以外の年齢制限や条件はありません。道外の方でも入学できます。昼食は給食を利用でき(注1)、希望があれば、寄宿舎に入ることもできます(注2)。

※入学条件の詳細は、下記アドレス専攻科情報デザイン科 Web ページ内の「入学者募集」をご覧ください。

### 専攻科情報デザイン科 Web ページ

[http://www.koutourou.hokkaido-c.ed.jp/?page\\_id=228](http://www.koutourou.hokkaido-c.ed.jp/?page_id=228)

### 入学者募集について

[http://www.koutourou.hokkaido-c.ed.jp/?page\\_id=223](http://www.koutourou.hokkaido-c.ed.jp/?page_id=223)

## 入学に関するお問い合わせ

ファックス：0134-62-2663

電子メール：koutourou-z0@hokkaido-c.ed.jp

電話：0134-62-2624

- ・高等学校に設置される「専攻科」と同様の枠組みです。(いわゆる「標準教育」の教育課程です)
- ・授業料が全くかからず、材料費等も非常に低コスト(注3)で、対費用効果の高い学習内容を学ぶことができます。また、通学等に関わる費用は「就学奨励費」の対象(注4)となっており、支援制度等も充実しています。
- ・DTP や Web に係わる「最新の」「スタンダード」な内容を重視します。(例えば、Web であれば、HTML5 と CSS3 を使い、セマンティックコーディング、というように。もちろんテーブルレイアウトや center タグは使いません！)
- ・デザイン等に専門的な学習だけではなく、特別支援学校における「自立活動」(注5)で扱うべき内容、例えば日本語教育や聴者社会の社会生活に係わる内容等を、総合的に、到達度がはっきり理解できるように学びます。
- ・学生のこれまでの学びの環境や積み重ね(「普通校」出身者か「聾学校」出身者か、失聴時期、日本語のリテラシー、学力等)に合わせた教育方法を準備します。
- ・筑波技術大学と協調した授業等も行っています。
- ・修了後について、本人、保護者の希望をお聞きすると同時に、ロールモデルとなる聴覚障がい教職員のアドバイスを受けたり、聴者社会とろう者社会、ろう者と難聴者との違い(注6)などについて客観的に学びながら、単に「好きなこと」から「(社会にとって、自分にとって)やる価値のあること」「自分の技量でできること」「社会に貢献できること」といった観点から主体的に選択できるようにしていきます。

注1：1食350円(昼食)で、就学奨励費の対象となっています。 注2：学年末・学年始休業日、夏季・冬季休業日は閉舎します。 注3：現在、学校で材料費等は徴収していません。授業毎に使用する材料等は、すべて学生自身で準備し、学校に持参していただきます。 注4：特別支援学校に在籍する生徒・学生への補助制度で、帰省や通学にかかる交通費、給食費等が対象となり、所得状況に応じて額は変わります。 注5：普通校には通常ない領域で、障害そのものの改善に焦点を当てます。具体的には、弊校の場合、聞こえや社会生活、コミュニケーションに係わる内容となり、学校の教育活動全般をとおして行われます。 注6：医療や教育分野では聴力を基準に考えることが多いですが、聴覚障がい者の実際の社会での有り様においては、日本手話を母語とする「ろう者」と聞こえづらくとも日本語を母語とする「難聴者・中途失聴者」で分かれます。

## 情報デザイン科学科だより

Information Design Department

# IDDNewsletter

March 2025 3

IDDNewsletter

March 2025

発行人／北海道高等聾学校専攻科情報デザイン科「学科だより」編集チーム

発行／北海道高等聾学校

〒047-0261 北海道小樽市銭函1丁目5-1

[www.koutourou.hokkaido-c.ed.jp](http://www.koutourou.hokkaido-c.ed.jp)

※ご意見、ご要望などにつきましては、上記 Web ページより電子メールでご連絡ください。